



[RIテーマ] 「ロータリーのマジック」  
[地区スローガン] 「寛容な心で、ロータリーの未来、そして若者の未来を考えよう。」  
[大分RCスローガン] 「ロータリアンとしての誇りを持とう」

## 第19回例会 2024年12月24日 No. 3513

例会／毎週火曜日 12:30 トキハ会館4F  
会長 山本舜治／幹事 佐藤信彦

### 本日のプログラム

(食事 12:20~12:40)	
点 鐘	12時30分
ロータリーソング	四つのテストの歌
ゲスト・ビジター紹介	山本会長
会長の時間	山本会長
出席及び幹事報告	佐藤幹事
委員会報告	関係委員長
ニコボックス	澤田S.A.A.

今週のお祝い	
結婚記念日	今川 尚俊会員 12月24日
	中村 直樹会員 1月 4日
会員誕生日	岩尾 久一会員 1月 4日
	甲斐 友邦会員 1月 7日
	西村 友里佳会員 1月12日
	山下 真弘会員 1月16日
卓 話	13:00
	「心のキャッチボール」
	元高校野球監督 内川 一寛 氏

第18回 12月17日  
例会記録

出席報告	
会員総数 (免除会員)	53名 (3)
出席総数 (免除会員)	40名 (1)
出席率	78.43%
ゲスト	0名
ビジター	2名
12月 3日	
修正出席率	92.00%

### 会長の時間 山本会長 “医療保険制度”

医療保険は昭和32年に国民皆保険制度が決められ、そこから発展してきました。国民から保険金を徴収して国と個人が分担して治療費を払うという制度です。今は政府が7割、個人が3割が基本です。

1980年代、3K赤字と言われ、国鉄、米、健康保険と国の財政の厄介者のように言われました。どれも戦争で疲弊した国土と国民の生活を取り戻すために政府が最も力を入れて予算をつぎ込んできたものですが、生活が安定してきたらもうそんなにお金をつぎ込む必要がなくなります。しかし一度決めた制度を廃止するのは簡単には行きません。それで必要以上に税金をつぎ込む事になり赤字が増えてゆきます。

その後、国鉄は民営化し米も自由化して赤字解消を図ります。健康保険も患者負担を1割から2割3割と増やし現在に至ります。医療は人の命に直接関与していますから医療保険は廃止にはできません。日本が世界一の長寿国になったのはこの制度のお陰です。

しかし医療の進歩で最先端の技術を使った医療機器はとても高価であり、それを使う医療費も当然それ相応に高くなります。

アメリカなどの外国のように政府管掌の保険制度のない国では、民間保険に入れない人たちは高度な高額医療は受けられません。親が高齢になって寝たきりになって医療費を払い続けると一家が破産するという事態が起こります。それで尊厳死と言ひ、裁判所に訴え呼吸器を外す許可を得ることで残された家族の生活を守るという苦肉の策も認められています。

日本は長寿国だと言っても国民全体が本当に幸せなのでしょうか。2019年の国民医療費総額は44兆3895億円、歯科医療費は3兆150億円と発表されています。何処が一番費用が掛かっているのでしょうか？ 高額医療のほとんどが終末医療と高度な手術を必要とする癌などの治療費です。病気に罹ったら治さねばなりません。高齢者が増えて癌患者などが増えれば医療費が増えるのは当然の結果です。自然増だからと成り行き任せにして良いのでしょうか？ 止める方法はないのか、そこで見直されているのが予防医療です。病気に罹らなくすることと早期発見して軽い症状の内に病気を治す、そして再発防止の為に定期検診を受けることです。

健康長寿という事がやっと近年言われるようになりました。病気にならず健康で長寿を全うするために予防医療にシフトをして行くことで“健康長寿世界”を目指してゆかねばなりません。

人は動物ですから生まれて成長して死んで行きます。しかし歳をとればみんな病気になるかと言えばそうではありません。殆ど病気をせず高齢まで生き、天寿を全うする人もいます。健康に留意して生活を送ってゆけば可能なことだと思います。

余談ですが、僕の母方の祖母は100歳までほとんど病気をせずに長生きしました。その長女は93歳で、次女は103歳でなくなりました。祖母は毎日温泉に浸かり、晩酌に一合の熱燗を飲んでいました。ただ僕の母は3姉妹の三女ですが、なぜか45歳で癌で亡くなりました。もう50年以上前になりますが、大切な母を救ってやれなかった、それが僕にとっての最大の無念です。

## 理事会報告

2024-25年度 第10回臨時理事会 2024年12月17日(火)  
山本 仲摩 栗山 高山 岩尾 橋本均 今川

### 1. 新会員の推薦について(1名)

#### ◇與繩 裕二氏

大分トヨペット 代表取締役社長  
福田健二会員より新会員推薦書受理  
会員選考を経て、理事会にて諮問  
⇒入会承認 入会申込書を後日提出

### 2. 2025-2026年度 地区委員推薦について

#### 尾野 文俊会員

今年度、地区公共イメージ部門 DX推進委員会  
に出向中  
地区より次年度も引き続き出向してほしいとの  
依頼あり  
⇒地区公共イメージ部門に推薦する

### 3. 社会奉仕委員会事業 小百合ホームへの寄贈物品について

⇒小百合ホームさんが希望する規格の冷蔵庫をト  
キハに見積依頼し5件の見積を出してもらった  
結果、SHARP製の冷蔵庫に決定。

冷蔵庫(本体)	128,000円
リサイクル料	4,730円
収集・運搬料	2,200円
合計(税込)	134,930円

## 委員会報告

### ○ロータリー財団表彰

年次基金、ポリオプラス、その他の寄付額が1000ドルに  
なった方、または追加で1000ドル寄付された方に認証ピン  
バッジが贈られます。

#### 鈴木 宗厳会員

第2回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
寄付累計3000ドル

#### 三又 哲博会員

第1回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
寄付累計2000ドル

### ○米山記念奨学会 米山功労者感謝状

福田 健二会員 第3回米山功労者マルチプル  
矢野 博久会員 第1回米山功労者

山本会長から認証ピンバッジと感謝状が手渡されました

## イベント告知

・大分1985RC「創立40周年記念式典・祝賀会」

※お知らせ欄をご覧ください

## 卓 話

「日銀総裁で振り返る日本の近代金融史～私の見た総裁  
たち～」

日本銀行大分支店

支店長 安徳 久仁理会員

日本銀行については、知っているようで実はよくわか  
らない組織、という印象を持たれる方もいらっしゃるか  
と思います。「日銀総裁」という存在はご存じだろう  
と思います。本日は、大分県が輩出した日銀総裁や、私  
自身が見てきた近年の総裁たちと、それぞれが直面され  
た金融政策運営上の課題について、お話をさせていただきます。

まず初めに、私が支店長を務める大分支店の歴史です。  
日本銀行は昭和20年に大分事務所を設置し、地元で日本  
銀行の支店を設置しようという運動が盛り上がったこと  
もあり、昭和23年に支店に昇格しました。最初は現在の  
「祝祭の広場」の場所にありましたが、昭和45年に現在  
の長浜町に移転しました。

全国に32ある日本銀行の支店の中でも、大分支店はあ  
りがたいことに、「最も県民の方に愛され親しまれてい  
る支店のひとつ」といわれております。32代までの総裁  
のうち、大分県出身者は全国で最多のべ5人になりま  
す。また、大分県出身ではありませんが、第28代総裁の  
速水さんと、第30代総裁の白川さんは、私と同じく、こ  
こ大分で支店長を務めた方々です。

ここからは、大分県出身の総裁方をご紹介します。

第5代の山本達雄さんは、安政3年に豊後臼杵藩士の  
家庭に生まれ、三菱勤務の中で、後に第3代日銀総裁と  
なる川田小一郎さんの知遇を得て日銀に転じました。明  
治31年に43歳の若さで総裁に就任してからは、急速な産  
業の近代化に伴って日本の産業構造が変化する中、毅然  
とした態度で金融政策を運営したことが知られています。

第9代と11代の2回にわたり総裁を務めた井上準之助  
さんは、旧日田郡大鶴村、今の日田市の出身です。生家  
は現在も続いている井上酒造という造り酒屋で、私はこ  
このお酒が大好きです。井上さんは、さきほどの山本達  
雄さんのすすめで、大学卒業後、日銀に入行してトント  
ン拍子で出世を重ね、49歳で総裁に就任。日銀職員出身  
の総裁は井上さんが初めてでした。関東大震災の直後  
には浜口雄幸内閣で大蔵大臣となり、持論であった金本位  
制への復帰(金輸出解禁)に尽力したことで有名です。  
全国各地を遊説して国民の協力を求めるなど、当時と  
しては珍しく世間に対してPR活動を行なった人でも  
ありました。しかしながら、金輸出解禁と併せて、財  
政緊縮を中心とするデフレ政策を断行したことが悲劇  
を招く結果となり、昭和7年、総選挙の応援演説に行  
く途中、凶弾に倒れてその生涯を終えました。

3人目は、旧野津原村の出身、第18代の一萬田尚登さ  
んです。郷土の大先輩である井上準之助総裁の秘書など  
を務めた後、敗戦の翌年に総裁に就任しました。就任後  
直ちにマッカーサーに会見を申し入れ、率直な対話を通  
じて信頼関係を築いたとされます。戦後の復興資金を賄  
うべく、通貨安定と貯蓄推進の国民運動を推進すると  
ともに、ベルリン駐在時代に体験した第一次大戦後のドイ

ツのハイパーインフレの教訓を踏まえ、引き締め基調を堅持した金融政策を行い、経済の安定化に努めました。他方で、GHQ特別顧問として来日したジョセフ・ドッジが強度の緊縮政策を実施すると、そのデフレ的な影響を緩和する政策を進めました。戦後復興期の経済政策を支えた、最も偉大な総裁の一人だと思います。

最後に、第26代の三重野康さんです。臼杵市出身となっていますが、生まれは満州です。三重野さんもまた、郷土の大先輩である一萬田総裁の時代に入行しており、大分県人の系譜の強さが大変よくわかります。三重野さんの名前は、バブル経済とその崩壊との関係でよく知られています。総裁任期中、日本経済はバブルのピークにありましたが、急激な資産価格の上昇を懸念し、後に「バブル潰し」とも称される金融引き締め政策を推進しました。バブル崩壊後の長期的な経済低迷の原因は果たしてこの時期の政策運営にあったのかどうか、現在でも様々な議論が交わされています。

ここからは、平成10年の入行以来、私自身がお仕えてきた総裁と、その時代を振り返ります。

速水さんは、バブル崩壊後の経済停滞とデフレからの脱却に取り組んだ最初の総裁です。99年に「ゼロ金利政策」を導入したものの、効果が限定的であるとされ、2001年にはそれまで禁じ手とも言われていた「量的緩和政策」に踏み切りました。これは、政策金利誘導を目的とする従来型の金融政策ではなく、日銀が国債などの金融資産を購入し、金融市場への資金供給を量的に増やすことで、デフレ圧力を軽減しようとするものでした。しかし、この政策もデフレ脱却には至らず、日本経済の長期的な停滞と金融政策の限界が議論されるきっかけとなりました。

私自身は、大学生であった97～98年に、山一・拓銀の破綻を始めとする平成の金融危機や、逮捕者も出た大蔵省・日銀の接待不祥事があり、混とんとした世情の中で迎えた入行式で、「私も本日、皆さんと一緒に日銀に入行しました」という挨拶があったことを覚えています。熱心なクリスチャンで、総裁室奥の別室に「畏れるな、私はあなたとともにいる」という聖書の言葉が掲げてあったそうです。国策として「尊敬される円」を標榜する、信念の総裁、というイメージでした。

次の福井さんは、早くから「日銀のプリンス」として頭角を現した方です。速水総裁から引き継いだ量的緩和政策を維持し、デフレ脱却を目指しました。日本経済の回復を受け、06年に量的緩和政策を解除、ゼロ金利政策も段階的に終了させました。また、それまで賛否両論のあったインフレーション・ターゲティング政策を「物価安定の目途」という形で初めて導入し、金融政策の指針としました。いわゆる「大物総裁」でしたが、村上ファンドへの投資問題で、国会等の場で大変な批判を浴びたことで、その後のコンプライアンス面の制約が厳しくなり、日銀という組織自体が委縮気味になった面もあるように感じます。

ねじれ国会のもとで期せずして総裁に就任した白川さんの時代は、リーマンショック後の金融危機や欧州債務問題、東日本大震災など、とりわけ多難だった記憶が濃

い時期です。国債の購入拡大や上場投資信託の買入開始など、非伝統的な金融政策手段の導入に踏み切ったこの時期の日銀は、ある意味で、中央銀行界のトップランナーでした。私自身も、リーマン危機後の米ドルによる流動性供給スキームの構築や、大規模金融機関の破綻処理スキームの検討など、各国の金融当局と連携しながらグローバル金融システムの安定確保のために汗を流し、仕事のスケールが格段に広がった時期です。

学究肌のセントラルバンカーであった白川さんは、インフレ目標政策の有効性については懐疑的でしたが、結果としてデフレ脱却は達成できませんでした。12年末の総選挙で、リフレ派の提唱する大規模金融緩和を政策として掲げた安倍首相が政権に返り咲く中、任期切れを待たず、退任を決意されました。

安倍総理の肝煎り人事で就任した黒田さんは、歴代最長の2期10年にわたり総裁を務められました。就任直後に、アベノミクスの「第一の矢」として「量的・質的金融緩和」を導入し、国債やETFの大量購入による資金供給を進めました。16年には「マイナス金利政策」の導入や、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」という枠組みへの移行に踏み切り、年率2%という物価安定目標の実現を目指し、極めて緩和的な金融環境を維持しました。私自身は、黒田さんと一緒に就任した岩田規久男副総裁の秘書として、いわゆるリフレ派を中心とする体制への移行に深く関わりました。

黒田体制下の政策運営について、その評価が定まるまで様々な議論が交わされることになるでしょうが、いわゆる高圧経済の政策を粘り強く続けた末に、ようやくデフレではない環境にたどり着いたという実感は、共有して頂けるのではないかと考えています。

デフレ経済からの出口が見えた段階で、黒田さんからバトンを引き継いだのが、現在の植田総裁です。植田さんは、私の学生時代は隣の経済学部の先生で、同期にも植田ゼミの出身者がいました。同じ時期に審議委員として日銀入りされ、速水さんから福井さんの前半にかけての金融政策運営に参画されています。今回私は、組織運営全般を統括する経営企画課長という立場で、総裁となった植田さんをお迎えしました。現在の支店長の立場でも、3か月毎の支店長会議の際に、様々なインプットをさせて頂いています。

植田さんの総裁指名は、想定外でかなり驚きましたが、素晴らしい人事だったと思っています。世界的なインフレ傾向と経済動向の不確実性、人手不足と賃金上昇などが主要テーマとなる、新しいステージが到来しつつある中、日本社会が馴染んでしまった「デフレ下の超緩和的な金融政策」を「普通の金融政策」に戻していく道のりは、決して平坦なものではありません。結果が問われることは勿論ですが、誰がやっても批判にさらされる役割を果敢に請け、粘り強く歩みを進められている姿は、賞賛と支援に値するのではないのでしょうか。

植田総裁を先頭に、私たちはこれからも、通貨価値と金融システムの安定という使命を果たすべく、力を尽くしていきます。皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

## ニコボックス

澤田 S.A.A.

### ●大分1985R C 木村 成淑会員・宿利 美穂会員

大分1985R C 創立40周年記念式典・祝賀会キャラバンで参りました。

来年3月15日、皆様のご出席宜しくお願いいたします。

### ●佐野 真紀子会員（1口）

先日のクリスマス例会では、もう一人の私が出演させていただきました、もう一人の私自身も楽しませていただきました。ありがとうございました。

また橋本均会員は、当初絶対に出ないと仰っておられました、演奏を一番楽しんでおられる姿を拝見し、無理やり引っ張り出して良かったと、久しぶりに一緒に演奏させていただき、ありがとうございました。

また終了後に皆さんからもお声をかけていただき、ありがとうございました。

お付き合いくださった皆様様に感謝し、1口ニコボックスします。

### ●高山 龍五郎会員（2口）

先日のクリスマス家族例会の際に、失態を演じましたのでお詫びにニコボックス2口いたします。

## お知らせ

### ■令和7年1月25日(土) 補助金管理セミナー

13:00~16:10 ホルトホール大分 3階大会議室  
栗山副幹事(次年度幹事)、森若会員(地区委員)

### ■令和7年3月15日(土)

大分1985R C 創立40周年記念式典・祝賀会

記念式典 15:30~17:30

記念祝賀会 18:00~20:00

会場 トキハ会館5階 ローズの間

登録料 12,000円(家族8,000円)

### ■令和7年3月30日(日) ロータリー交流の広場

場所 祝祭の広場

### ■令和7年5月23日(金)~25日(日) R Y L A セミナー

天草市御所浦交流セミナー

受講生: 20~30歳程度の青少年

## 例会予定

12月31日(火) 定款第7条第1節に基づく休会

2025年(令和7年)

1月9日(木) 大分市内9RC新春合同例会

(1/7(火)の繰下げ)

1月14日(火) 定款第7条第1節に基づく休会

1月21日(火) ファンド奨学生卓話

1月28日(火) 下期クラブ協議会(全員協議会)

※委員長より上期報告と下期取り組み発表

2月4日(火) 職場例会 鬼塚電気工事(株)

2月11日(火) 定款第7条第1節に基づく休会

2月18日(火) 上田会員卓話

2月25日(火) 定款第7条第1節に基づく休会

3月4日(火) ゲスト卓話 栗林 伸幸氏

(フォトジャーナリスト)

「大分の街並みを見つめて60年~写真で見る大分のなり変わり~」

3月11日(火) 夜間例会 18:30点鐘

ホテル日航大分オアシスタワー21階  
エトワール

3月18日(火) 定款第7条第1節に基づく休会

3月25日(火) ゲスト卓話 佐藤 勝弘氏

(大分県警察学校 校長)

## 例会変更

クラブ名	開催日	会場
大分臨海	1/6(月)	ホテル日航大分オアシスタワー
大分1985		トキハ会館
大分城西	1/8(水)	ホテル日航大分オアシスタワー
大分キャピタル		レンブラントホテル
別府北		ホテル別府パストラル
別府東	1/9(木)	ホテルサンバリーアネックス
大分南	1/10(金)	トキハ会館
別府		両築別邸
別府北	1/15(水)	ホテル別府パストラル
大分東	1/30(木)	トキハ会館
大分南	1/31(金)	トキハ会館

※大分市内RCならびに別府市内RC

12月25日(水)~1月3日(金)例会はありません

## 週報編集担当者

1月9日号	中村直樹
1月21日号	荻原哲
1月28日号	尾野文俊
2月4日号	中野通孝

## 四つのテストの歌

真実かどうか みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

心がけよう四つのテスト

## 事務局

大分市府内町1丁目2-15 トキハ会館4F

TEL 097 (532) 0611 FAX 097 (532) 8386

E-mail oitarc@mist.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.oita-rc.jp/>